

# 報道資料

令和3年1月30日（土）

福祉医療部 医療政策局 地域医療連携課 担当：小林・数家  
電話：0742-27-8653（ダイヤルイン） 内線：3110、3111

## 新型コロナウイルス感染症の院内感染事案（クラスター事案）の発生について（當麻病院最終報）

當麻病院において、職員2名、患者5名 計7名の感染が判明したことを受け感染者が発生した病棟の職員及び入院患者に対して健康観察を行ってきました。感染の原因は、患者特性を踏まえた感染対策が不十分であったものと推定しています。

当該医療機関では、マスクに加えてフェイスガードの着用を職員に徹底することなど再発防止策を講じたところです。

感染者との最終接触から2週間が経過して健康観察を終了し、新たな感染者の発生は確認されていないことから、当該医療機関における院内感染事案は終結し、本日（1月30日）から、當麻病院がすべての病院機能を再開されることを報告します。

### 1 発生場所

當麻病院（所在地 葛城市染野520）

### 2 感染者の概要

	感染者	年代	性別	発症日	報道発表日	推定感染経路
1	看護助手 A	60代	女性	12月24日	大阪府在住	調査中
2	入院患者 A	70代	男性	無症状	12月28日(感染者1892例目)	院内感染
3	看護職員 B	60代	女性	12月24日	大阪府在住 (看護助手 A の同居家族)	調査中
4	入院患者 B	70代	男性	12月31日	1月2日(感染者2053例目)	院内感染
5	入院患者 C	50代	女性	無症状	1月2日(感染者2054例目)	院内感染
6	入院患者 D	70代	女性	1月2日	1月4日(感染者2122例目)	院内感染
7	入院患者 E	50代	女性	1月15日	1月17日(感染者2565例目)	院内感染

### 3 接触者に対する PCR 検査の経緯

令和2年12月24日	・看護助手 A が発熱 ・医療機関を受診し、PCR 検査を実施 ・看護助手 A の陽性が判明 (次ページに続く)
25日	

26日	・看護助手Aが勤務する病棟①の医療従事者30名と入院患者63名に対しPCR検査を実施
27日	・26日のPCR検査の結果、入院患者Aの陽性が判明（残り全員陰性） ・医療従事者3名（2名は病棟①、1名は別病棟で看護助手Aの同居家族）に対し、PCR検査を実施し、病棟①の2名の陰性が判明
28日	・医療従事者5名に対し、PCR検査を実施し、結果陰性 ・前日検体提出で結果待ちの看護職員B（看護助手Aの同居家族）の陽性が判明 ・看護職員Bが勤務する病棟②の医療従事者18名と入院患者63名に対しPCR検査を実施し、全員陰性を確認
31日	・入院患者に感染者が発生した病棟①の医療従事者と入院患者に対し再度PCR検査
令和3年1月1日	・31日のPCR検査の結果、入院患者B、入院患者Cの陽性が判明（残り全員陰性）
1月3日	・発熱があるためPCR検査を行った、病棟①の入院患者Dの陽性が判明
1月15日	・発熱があるためPCR検査を行った、病棟①の入院患者Eの陽性が判明
1月17日	・病棟①の入院患者（12月31日での検査結果が陰性だった58名）に対し再度PCR検査を行い、全員の陰性を確認
1月29日	・病棟①の入院患者（1月17日での検査結果が陰性だった58名）に対し再度PCR検査を行い、全員の陰性を確認

#### 4 PCR検査の状況

##### (1) 看護助手Aが勤務する病棟（病棟①）

区分	検査対象数	結果判明数		未判明数
		陽性	陰性	
医療従事者	49	1 (看護助手A)	48	0
入院患者	63	5 (入院患者A、入院患者B、 入院患者C、入院患者D、 入院患者E)	58	0

- ・医療従事者49名 内訳 医師2名 看護職員27名 看護助手7名 その他13名
- ・入院患者63名

##### (2) 看護職員Bが勤務する病棟（病棟②）

区分	検査対象数	結果判明数		未判明数
		陽性	陰性	
医療従事者	19	1 (看護職員B)	18	0
入院患者	63	0	63	0

- ・医療従事者19名 内訳 看護職員14名 看護助手4名 その他1名
- ・入院患者63名

## 5 病院の改善対応策

- ・ 感染防護具の着用を徹底（マスクに加えてフェイスガードの着用）
- ・ 消毒等の環境整備の強化徹底
- ・ 職員の手指衛生の強化徹底
- ・ 職員の健康管理を強化徹底
- ・ 職員の食事休憩時において、濃厚接触がおこらないように場所と時間を調整